

保健師との会話とヘルシーメニューが 従業員の健康を支える

REPORT ①

国内でも数少ない
自動車特殊歯車の総合メーカー

株式会社 ジェイテクトギヤシステム

<https://www.gear.jtekt.co.jp/index.html>

自動車歯車部品の中でも特に製造が困難とされる「ハイポイドギヤ」を国内で唯一製造。独自の歯車製造技術をもとに安定した成長を続け、全世界の自動車メーカーをターゲットに製品を提供する。



〒489-8550 愛知県瀬戸市暁町3-45
TEL.0561-48-2221
(みたけ工場) 〒505-0116
岐阜県可児郡御嵩町御嵩字南山2188-48

創 業 ●1958 (昭和33) 年7月14日
代 表 者 ●代表取締役社長 森川 隆
従 業 員 数 ●937名 (男893名・女44名)



令和4年度

「清流の国ぎふ 健康経営優良企業」 の選定について

募集概要

① 対象企業

清流の国ぎふ健康経営推進事業実施要領に基づき、清流の国ぎふ健康経営宣言企業として登録した企業、または令和4年9月8日(木)までに清流の国ぎふ健康経営宣言企業として申請した企業。ただし、過去に当制度において表彰を受けた企業を除く。

② 選定部門 / 大規模企業部門・中小規模企業部門

③ 応募要件 / 以下のアからカの要件を満たしている企業が対象 国については、いずれかの要件を満たしていれば対象

応募基準

ア	特定健診の受診率75%以上、特定保健指導実施率45%以上(被扶養者含む) ●新型コロナウイルスの影響で受診が延期になるなど、応募期限までに今年度の数値を算出できない場合は、昨年度の数値を提出し、その旨を記載すること。
イ	がん検診受診率 50%以上(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん いずれかの項目)
ウ	ストレスチェックの実施
エ	食生活の改善に向けた取組みの実施または運動機会の増進に向けた取組みの実施 ●食生活の改善に関する研修や情報提供等の実施 ●野菜摂取の普及 ●減塩の推奨 ●朝食摂取の促進 ●運動に関する研修の実施 ●清流の国ぎふ健康ポイント事業への参加 ●スポーツクラブの活用促進 ●職場におけるレクリエーション、体操の実施 ●ウォーキング等の運動の推奨
オ	受動喫煙対策(次のいずれかに該当) ●敷地内全面禁煙の実施 ●屋内全面禁煙の実施(屋外に喫煙所あり) ●屋内全面禁煙の実施(屋外に喫煙所なし)
カ	その他健康づくりの取組み、県内企業の模範となる取組みを実施

選定方法

表彰する企業は、上記の①と③応募要件のア～カを満たすものとして応募があった企業について、有識者等による清流の国ぎふ健康経営優良企業選定会議において個々の取組状況を評価し、選定。

評価基準

提出された取組み状況について、「従業員の健康への配慮」「県内企業への影響」の観点から、より優れた取組みについて評価。

表彰企業の特典

- 表彰式や県のHPをはじめとする各種媒体での紹介
- ロゴの使用などにより、企業の知名度やイメージの向上





自動車部品の製造などを手がけるジェイテクトギヤシステムは、社員の健康増進を経営課題の一つと位置付け、2016年より本格的に健康経営に着手しています。19年に会社独自の健康宣言を発表。健診受診率向上への取り組みが顕著で、大腸がんの検診の受診率は96%(21年度)、ストレスチェックは実施率100%に達しています。禁煙対策にも取り組んでおり、18年に42.2%だった社内喫煙率は、22年に36.3%と減少しました。また、保健師が常駐し、従業員と密にコミュニケーションを取ることができる環境整備、健康に配慮した社内食堂のメニュー作成等を通じて会社全体で健康増進を後押ししています。



常駐する保健師が従業員にしっかりと寄り添う

従業員の健康に関する相談などに対応するため「健康管理室」を設置しています。健康管理室は工場の作業場からも近く、従業員が空き時間に気軽に立ち寄れるように配慮。常駐する3人の保健師が健康に関する話だけでなく、ちょっとした世間話も含めてしっかりとコミュニケーションを取れるような環境となっており、毎日誰かに声を掛けて信頼関係

を築くことを大切にしている」と話します。また「健康に関する知識を正しいからといって押し付けてはダメ。気さくに話をしながら相手に健康への気づきを促すことが大事」と言います。三輪大造総務・人事室室長は「保健師が毎日さまざまな相談に乗ってくれることは心強い。従業員も安心感を持って仕事に臨んでいる」と実感。保健師の山田里沙さんは「1日に1回は工場に



特定保健指導の実施、がん検診の受診を促す環境を整備

従業員に対する特定保健指導を、日頃から頻繁にコミュニケーションを取っている保健師が行っていることとあって、初回面談実施率、最終評価終了者はともに100%です。就業時間内に各従業員の都合のいい時間に合わせ行うといった配慮もしています。健康

足を運んでいるので、保健師と顔を合わせるのが当たり前だと思われている」と言っている。そんな中、来ると思っていた「いたよ」と言われた時はうれしかったと笑顔を見せます。また、健康管理室には体重計や体脂肪計、血圧計、握力測定器が置いてあり、空き時間などを利用して自由に使用でき、自分で健康状態を把握できるようになっています。保健師の小松留美さんは「お酒が好きな従業員と一緒に自分も休肝日を設けるなどして、楽しみながら共に頑張っている」と話します。

診断での再検査が未受診の従業員に対しては、保健師が面談して受診を促します。また、社内健診と同時にがん検診の受診も可能。胃がん、大腸がん、肺がん検診を自己負担することなく、会社負担で受けられます。



うになったこと、ヘルシーメニューの種類は増加しています。

また、食堂の全メニューに、カロリー表示だけでなく、塩分量、脂質量、摂取できる野菜の量についても表示。高血圧予防として黒豆を使ったメニュー、夏バテ予防としてトマトのリコピンをアピールするなど、食材が健康に与える良い影響についても伝えています。



健康づくりキャンペーンや食育SATシステムなどです。9月～11月には健康づくりキャンペーンを開催。食事、運動、歯に関する啓発活動を行っています。2022年度は食堂で週に1回、生活習慣病予防などを目的としたメニューの提供を行いました。

健康づくりキャンペーンや食育SATシステムなどで食生活を見直す

食品サンプルをトレーに載せること、カロリーや栄養バランスが分かる食育SATシステムも活用し、普段の食事のバランスが取れているかをチェック。従業員から「楽しみながらできる」と好評で、結果を参考にしながら管理栄養士との相談も行いました。

その他にも、朝食摂取の促進にも取り組んでおり、手軽に朝食を取れるようにと食堂にパンの自動販売機を設置。熱中症になりにやすい夏場を中心に、出勤時の朝礼で、体調チェック

くとも朝食を食べてきたかの声がけを行っています。ウォーキングに最適な会社周辺のコースを紹介。楽しく仕事ができる環境を整えていく

昼休みに会社周辺を歩く習慣を推奨。社内ポータルサイトに、景色がいいなどおすすめめのウォーキングコースを載せています。中でもみたけ工場周辺は、4月になると満開の桜の下でウォーキングを楽しむことができます。その他にも再雇用者を対象とした転倒リスクチェックを行っています。



また、以前は社員同士のコミュニケーション促進のために社員運動会を行っていました。コロナ禍で現在は開催を見送っていますが、再開を検討中です。森川隆社長は「心身ともに健康で楽しく仕事ができて、家族ともじっくり過ごせる環境にしていきたい」と意気込み、今後もより良い職場の形成に力を注ぎます。

PICK UP

16もの部活が活動中!

ジェイテクトギヤシステムでは、ソフトボール部、テニス部、駅伝部など16の部活動が精力的に活動しています。活動費の一部は会社が補助。また、毎年12月には、本社のある瀬戸市で行われている「瀬戸地方近郊駅伝競走大会」に駅伝部が出場しており、これまでに1大会で同部から6チームが出場したこともあるほど。森川社長もメンバーの一人として駅伝に出場しています。

また、ボランティアとして駅伝に参加し、誘導係を務める従業員もあり、裏方として活動をサポートするなど会社としての一体感を感じさせます。

